

09 身近な環境形成と公共空間利用



未活用の公共空間を利用し、市民や地元企業とともにルールづくりを行い
その地域に密着した緑を創出する。

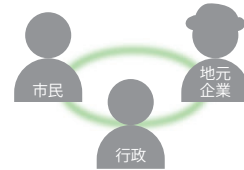
■未活用の公園の緑地化

『新木場・辰巳三丁目地区地区計画』

500㎡以上の開発を行う際、敷地の3%を公園にする。

未活用の区立公園

緑あふれる賑やかな公園



▲新木場一丁目公園 出典：Google



▲区立公園 出典：国土地理院

現況

◎チャリティハーブガーデンプロジェクト

NECソフトの地域貢献活動(2006～)による新木場駅前にあるハーブ園。
東京港湾局より緑地帯を借用して行われている。
社員や地域の人々がハーブの加工品を地域イベントで販売したりしている。

◎うるおいの森プロジェクト

若洲海浜公園のサイクリングコース沿いにある小さな人口の森で、

- ・東京コカ・コーラボトリング株式会社
- ・株式会社ニチレイ
- ・キャンノン株式会社
- ・一般社団法人地域パートナーシップ支援センター

が協働で、

「東京湾の埋立地に、生き物たちとふれあえる生物多様性に富んだ空間づくり」を
目的としたボランティア活動(2008～)。

周囲の単調な景色と異なり、多様な木が生い茂っているのが特徴的。



▲新木場駅前ハーブ園



▲うるおいの森 出典：Google

10 東京都港湾局専用線跡地の再生



廃線路を語り継ぎ、現代に相応しい景観をつくり出す為の、空間としての整備・利活用。

現況

■東京都港湾局専用線の廃線から今

新しい埋立地を繋ぐインフラとして拡張された貨物線。
1970年代後半に輸送手段変化による貨物線輸送量縮小に伴い、
1985年から路線廃止が始まり、36年の幕を閉じる。
再開発が進んできた地域では、今はポツポツ廃線の遺構が見られる。

出典：乗り物ニュース



出典：東京都港湾復興協会

■廃線跡の活用

塩浜二丁目、廃線跡は、現在都有地かつ未利用地



- 北側 駐車場を挟んで区立塩崎保育園、塩浜こどもの家
- 南側 特養老人ホームらん花園、鈴木病院、集合住宅地

周辺に運動公園
はない

しおかぜ橋から見た跡地は、東西の流れを遮り、荒れた地域の印象を与える・・・

○健康促進の散歩道/運動公園



出典：Google Map

地域の人たちが安心して憩える

地域の交流から活気を生み出す

地域の遺構に親しみを持てる

健康促進の場へ

・地域の回遊性と
見守り合いの安心感を確保

しおかぜ橋

・バリアフリーに配慮して、
通路拡幅とスロープ設置

・線路は遊具、
通路やデザインの一部とし、
多様性に富んだ空間をつくる

事例

■碧南レールパーク

長い廃線がそのまま残っていた為、複数の広場が連結して
一つの遊歩道/レールパークとなっている。

中でも三河旭広場の遊具は地元小学生のアイデアを基に
地産産業(鋳造業)の協力を得て製作されたオリジナル遊具。



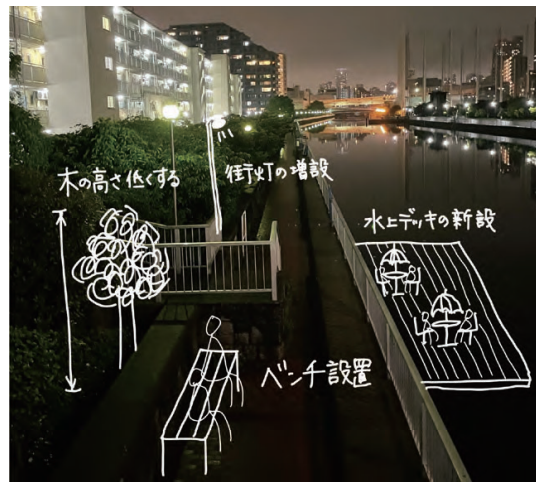
出典：碧南市

11 安心安全の水辺空間

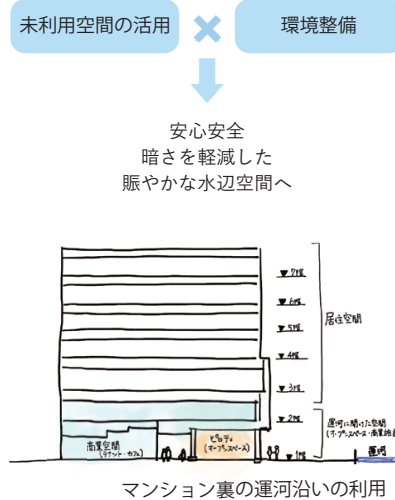


南部地域に多く存在する運河沿いは暗く怖い印象と共に賑わいが少ない現状がある。
多くの人が安心安全に利用できる賑わいのある運河沿いの形成を行う。

■安心安全の水辺空間へ



草木が多い運河沿いの利用



●草木が多い運河沿い

- ・街灯の増設。
- ・木の高さを低くする。木々を減らす。
- 木々の定期的な整備
- ・水上デッキの新設。
- カフェなど

●マンション裏の運河沿い

- ・運河に開けた低層部の利用
- 運河側に十分な敷地がない場合、マンションの1階を商業空間やオープンスペースとして活用。

事例



海辺のカフェ事例
広島県尾道市尾道U2



水辺空間の事例
有明緑道公園

12 水辺の休憩所

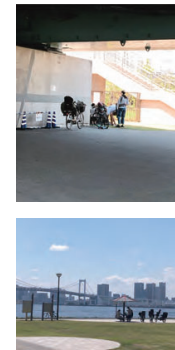
南部地区全体



江東区は内部河川や運河が多く、橋も多くある。
橋の下を、水辺で運動してる人の休憩スポットとなるように整備する。

■”影”の空間

水辺にある橋の影やパラソルの下、建物の影など、
日陰となる空間は、サイクリングやジョギングなど水辺で運動している人にとって、休憩場所となり得る。
日陰空間にベンチなどくつろげるファニチャーを設置することで、”影”の空間に価値を与える。



▲豊洲ぐるり公園 出典：Google

現況



- ・汐浜運河
安心安全な運河沿いの整備
人気の釣りスポットへ
- ・汐見運河
住宅街の中の運河沿い
水質改善
- ・辰巳運河
高層住宅からの美しい景観
散歩道としての運河沿い
- ・豊洲運河
- ・東雲運河

13 運河の幅に合わせた水辺空間 -M-

豊洲 枝川
塩浜 潮見 新砂

江東区は内部河川や運河が多く、それぞれサイズ感が異なる。
小規模な水辺では、遊歩道の設置や桟橋を活用した空間の形成を図る。

健康ネットワーク



▲潮風の散歩道 出典：Google

内部河川や運河沿いに遊歩道を整備
(ジョギングコースやサイクリングコース)

健康促進

桟橋を活用した空間の形成

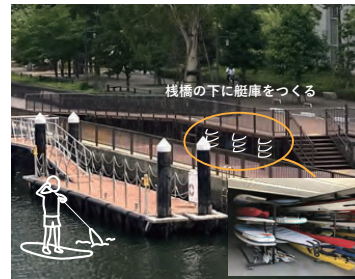
桟橋の下に SUP の艇庫を設置し、
SUP のスタート地点、ゴール地点とする

運河でのアクティビティの誘発

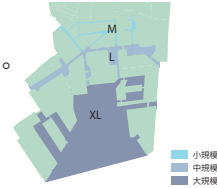
例) 豊洲運河の桟橋⇄東電堀



▲SUP ルート 出典：国土地理院



▲豊洲運河の桟橋



小規模
中規模
大規模

14 運河の幅に合わせた水辺空間 -XL-

青海 新木場
若洲 海の森

江東区は内部河川や運河が多く、それぞれサイズ感が異なる。
大規模な水辺では、マリナーや船着き場の整備など、
水辺のアクティビティを生み出す。

東電堀の活用

住民が水辺のアクティビティに親しめるエリアとして整備。
東京都港湾局の跡地を活用し、アクティビティの拠点となるクラブハウスのような機能を設置する。



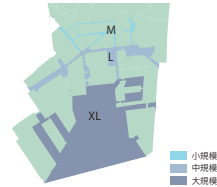
▲東電堀 出典：Google



▲運河の利用ルール 出典：東京都港湾局

SUP コース

豊洲運河の桟橋と東電堀を結ぶ
コースを設け、コースをユニ
バーサルエリアに指定する。



小規模
中規模
大規模

15 運河の幅に合わせた水辺空間 -L-

有明 東雲
辰巳 夢の島

江東区は内部河川や運河が多く、それぞれサイズ感が異なる。
中規模な水辺では、カフェなどの集客機能を付与する。

水辺カフェ



▲運河沿いのカフェ 出典：Google

豊洲運河・汐浜運河・汐見運河・東雲北運河・
東雲運河・砂町運河・辰巳運河

連携したカフェ作り

カフェ巡りで街を知ってもらう

水辺にカフェを設置し、
水辺へ人を誘導し水を眺める時間を生み出すことで、
水辺の価値、そのまちの魅力を広める。

事例

◎隅田公園オープンカフェ

民間事業者が河川敷地占用許可準則を活用し、新規に店舗建物を整備。
隅田公園の一部が、都市地域再生等利用区域に指定され、整備にあたり隅田公園オープンカフェ協議会が設立された。

◎日本橋かわてらす

民間事業者が河川敷地占用許可準則を活用し、既存のテラスを拡張して川床を整備。
テラス部分のみ都市地域再生等利用区域に指定されている。

◎清澄白河ワールドネーバーズ

コインランドリー × カフェ
待ち時間をカフェで過ごす新しいランドリーの過ごし方で、街のハブを目指す。



▲隅田公園オープンカフェ
出典：360°旅行ナビ



▲日本橋かわてらす
出典：Yahoo! ニュース



▲清澄白河ワールドネーバーズ

16 回遊性ネットワーク

南部地区全体



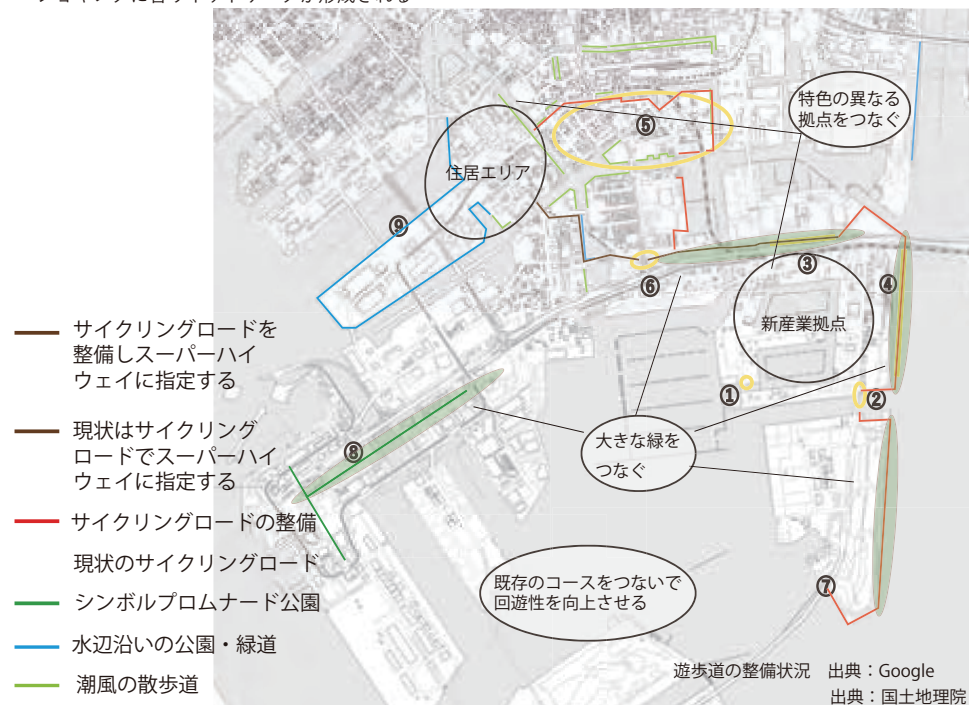
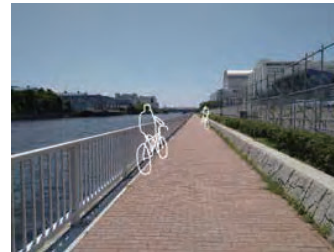
江東区は内部河川や運河が多くあり水辺の空間が豊かである。自転車や歩行者のためのネットワークを形成し、都市の快適性や利便性を向上させる。

■スーパー・ハイウェイの指定

- ・タワーマンションの多い豊洲や東雲と新産業が集積する新木場を結ぶために自転車専用道路や自転車専用高速道路（スーパー・ハイウェイ）として指定する
- ・運河沿いも自転車が通行できるようにすることで景観の良いサイクリングコースができる

■ジョギングコースの整備

- ・みどりと水辺が整備された公園や緑道を繋ぐことでジョギングに合うネットワークが形成される



事例

◎コペンハーゲンの自転車環境の整備

- ・スーパーハイウェイ（自転車専用高速道路）→色や段差による道の区別、信号や交差点での前方合図や足休めの設置など工夫がみられる
- ・自転車専用の橋「スネーク」→スムーズに街の行き来ができる



自転車専用道路
出典: greenz.jp



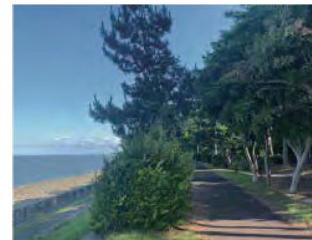
自転車専用の橋「スネーク」
出典: 未来コトハジメ

①南千石橋
→自転車交通不可



出典: Google

④新木場緑道公園
→抜け道が少ない



⑦東京ゲートブリッジ
→橋と海の景観

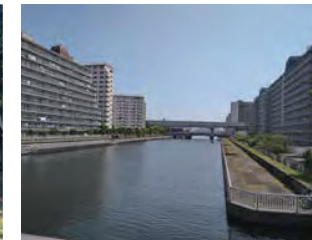


出典: Google

②若洲橋
→自転車専用道路の途切れ



⑤枝川・潮見の運河沿い
→一部が自転車通行不可



⑧シンボルプロムナード公園
→大観覧車と豊かな緑の景観



③夢の島緑道公園
→抜け道がない



⑨辰巳の立体歩道橋
自転車は降りて通行



⑩豊洲ぐるり公園
→ビル群と海の景観



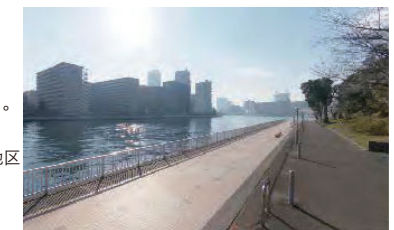
出典: Google

現状の交通ネットワークの改善を図るとともに、今ある景観を生かし、緑をつなぐ遊歩道や自転車の回遊性ネットワークを形成する

現状

◎遊歩道の整備

- 内部河川や運河に沿って散策路が整備されている。
- サクラやクロマツなどが植えられ、緑豊かな水辺空間が形成されている。
- 潮風の散歩道: 9,432m(令和2年4月1日時点)…湾岸地区
- 水辺の散歩道: 20,689m(令和2年4月1日時点)…深川地区、城東地区



17 水上交通

南部地区全体



臨海部全体のアクセスを多様にするために、水上交通を推進する。

臨海部の交通の現況

枝川の新駅

枝川に新駅がつくられる。

有明・青海エリア

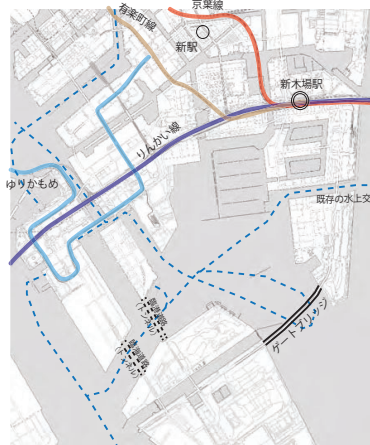
エンタメが集積する臨海副都心エリア。交通は商業・観光に影響する。

臨海道路・臨港道路

自動車交通の地下トンネル。臨海道路ではバスも通る。

水上交通

運搬が主。水上拠点は西側に集まる。



新木場駅

乗り換えでも使われるアクセスの良い駅。
JE R Y 東京駅まで10分

新木場・若洲エリア

海沿いのサイクリングコースが魅力的。

ゲートブリッジ

景色・眺望が綺麗だが現在は自転車で通行することができない...

海の森

現在は開発中で非公開...観光開発が進むので交通が重要になっていく。

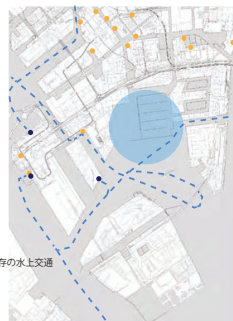
ポイント

- ・中央防波堤の開発に伴い、臨海道路、臨港道路、ゲートブリッジの利便性が高まっていくと考えられる。→陸路では臨海部を周回できるようになる。
- ・今後は臨海部を周回する陸上交通に加えて、直線的な動きをもたらす水上交通も発達させることで、臨海部の利便性と魅力創出の向上を目指していく。

■水上交通の提案

水上交通拠点の現状を考える

- 現状 -



「直線的な動き」をイメージする

- 構想 -



水上交通ルートの提案

公共交通として



● 新しい水上拠点 水上交通ルート

地図：国土地理院

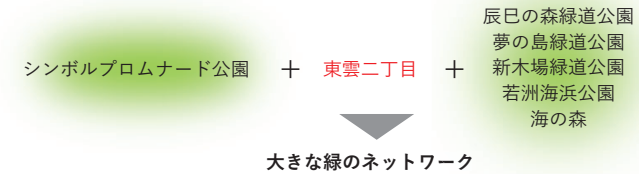
18 緑のネットワーク

東雲



大きなみどりのネットワークが途切れる東雲二丁目に、地区計画による壁面後退を活用して緑を増やす。

■大きな緑のネットワーク



▲緑のネットワーク 出典：国土地理院



▲緑化ゾーニング 出典：国土地理院

南部地区では緑道公園などの大きな緑が連続しているが、東雲で分断されている。『東雲二丁目南地区地区計画』による壁面後退を利用し街路樹を整備したり大きな緑と連続する部分にかたまった緑を創出することで、大きな緑のネットワークを形成する。

現況

◎東雲二丁目南地区地区計画

- ・土地や建築物の共同化等により、オープンスペースの確保に努め、緑豊かなゆとりある空間形成を図る。
- ・安全で快適な歩行者空間の創出、緑化等による修景空間の形成及び整った街並みの形成を目指している。
- ・道路から1m以上の壁面後退。